

	課題：児童の実態・学習状況、指導の実態	改善プラン：課題改善の方針・具体的手立て
国語	○自分の経験や考えをすすんで話す児童は多いが、話す順序がばらばらになったり、人の話を最後まで聞いたりすることに課題が見られる。 ○経験した事実については詳しく書ける。感じたことや想像したことについて書くときの語彙を身に付ける必要がある。 ○文章の内容と自分の経験を結び付けて考えることが難しく、感想がうまくもてない児童がいる。 ○長音、拗音、促音、撥音の正しい表記や助詞（は・を・へ）の使い方について理解を深める必要がある。	☆<u>話型を使って順序立てて話す練習</u>をすることで、必要なことを選んで分かりやすく伝える力を育てる。合わせて、<u>聞くときの約束を明確にし、友達の話をしっかり聞いて振り返る習慣を身に付けられるようにする。</u> ☆互いの話に関心をもてるよう、話題を工夫し、興味をもったところや感心したところを伝え合う活動を取り入れる。<u>学習用端末を活用した交流活動を取り入れて、伝え合う活動の幅を広げていく。</u> ☆感じたことや想像したことを書くときは、<u>気持ちを表す言葉や比喩表現などの語彙にふれる活動を取り入れ、言葉の引き出しを増やす。</u>音読や絵本、友達との交流を通して、多様な表現に親しむ機会を大切にする。 ☆登場人物の<u>気持ちや場面を自分の生活と比べながら読む活動を取り入れ、共感する力を育てる。</u>自分の経験を話したり聞いたりする中で、感想をもつきっかけを広げていく。 ☆長音・拗音・促音・撥音や助詞の使い方については、<u>実際の文にふれながら音読や書き写しを通して正しい表記に慣れるようにする。</u>間違いやすい言葉を取り上げて比べる活動を行い、使い方の違いに気付けるようにする。
算数	○繰り上がりや繰り下がりのある簡単な計算が十分身に付いていない、または筆算の操作手順を忘れてしまう等、課題が見られる。 ○10や100のまとまりに着目し、数の仕組みや相対的な大きさについてとらえる力を身に付ける必要がある。 ○長さについての理解が不十分な児童もいる。特に、cmとmmの目盛を正しく読み取ることや単位の換算、長さの加減計算の定着を図る必要がある。 ○自分で考えて問題を解いたり、どう考えたかを上手に説明したりする力を身に付ける必要がある。	☆繰り上がりや繰り下がりの意味を<u>具体物や図を使って繰り返し確かめる活動</u>を行い、計算のしくみを理解できるようにする。筆算の手順については、声に出して手順を確認したり、<u>操作の流れを順番に整理するカードや掲示物を活用して定着を図る。</u> ☆<u>具体物を操作する活動等</u>を多く取り入れ、理解を深めていく。 ☆日常生活の中で使われている単位に着目させたり、具体物を使ったりする数学的活動を通して理解を確実にし、量感を養う。また、mm、cm、m、ml、dl、lなどの単位の相互関係をきちんと理解できるようにする。 ☆児童が自分の考えを言葉や図で表現する機会を増やし、具体的な問いかけやペアでの説明活動を通して考えを伝える力を育てる。また、考え方の例やモデルを示して理解を深める。
生活 ひろば	○生き物や植物に興味をもっている児童は多いが、実際に世話をする経験が少ない児童もいる。活動には積極的に取り組むが、気付きや考えを深めることに課題が見られる。 ○地域の人や場所と交流することを楽しみにしている児童は多いが、身近な人に自分の考えや感じたことを伝え合う経験が少ない。 ○地域に興味をもつ児童は多いが、行動範囲や知っている場所に差があり、季節の変化や地理の感覚を養う必要がある。	☆生活ひろばに<u>観察や飼育の場を設けて生き物に触れる機会を増やし、成長や環境に関心をもつことができるようにする。</u>観察カードの書き方を国語と連携して指導し、気付きを交流する時間を意図的に設ける。写真や動画も活用し、多様な表現で観察を深める。 ☆伝えたいことを整理する話し方の型を教え、ペアやグループで伝え合う活動を繰り返すことで、自分の考えを身近な人に分かりやすく伝える力を育てる。地域の人との交流前後に感想や気付きを話す時間を設け、伝える経験を増やす。 ☆<u>地域の季節や場所について、実際の見学や観察に加え、地図アプリや写真・動画を活用して特徴を学ぶ体験を増やす。</u>学習用端末を使って感じたことをまとめ、友達と情報交換をすることで、地域と自分との関わりに関心を持ち、地域のよさに気付いて愛着を深める。
音楽	○音楽に合わせて体を動かしたり、リズムをとったりすることが苦手な児童がいる。 ○鍵盤ハーモニカの演奏には積極的に取り組む児童が多いが、技能には差があり、タンギングや指使いの技能を身に付ける必要がある。 ○身近な楽器に親しみ、自分の思いを表現することができる。一方、そのための技能に個人差が見られる。	☆簡単なリズム打ちや手拍子から始め、ゆっくりしたテンポの曲で体の動きを覚えさせる。<u>少人数での練習や友達と一緒にリズムを合わせる活動</u>を取り入れ、自信をつけられるようにする。 ☆タンギングや指使いの基本動作を分かりやすく示し、ゆっくりとした練習や反復練習を取り入れる。個別に声掛けや手本演奏を行い、段階的に技能を身に付けられるよう支援する。 ☆楽器の音色の違いを楽しむことができるように、様々な楽器を体験する機会を<u>多く設ける。</u>拍の流れにのってリズムよく演奏することに慣れ親しむことができるように、手でリズムを打ったりする活動を取り入れる。
図工	○身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れ、造形活動を楽しみながら活動している。 ○素材の感触を楽しんだり、用具の使い方を確認したりしながら児童が様々な表現方法を選択できるように取り組んでいる。	☆教科書の題材を中心にし、題材や指導法等の工夫をし、引き続き児童の意欲を高めていく。 ☆初めての用具や素材に触れる際には安全面を重視し細やかな指導を行う。配慮を要する児童については事前に情報を共有し、特に安全に配慮する。
体育	○体を動かすことが大好きで意欲的に取り組む児童が多い一方で、体の調和のとれた動きやバランスをうまく保つことがまだ十分でない児童もいる。 ○ゲームを楽しんでいる児童は多いが、規則を自分で工夫したり、戦い方を考えたりする力を身に付ける必要がある。 ○用具を操作する運動遊びのなわとび運動においては個人差が大きく、基本的な動きを身に付ける必要がある。	☆<u>基本的な動きやバランス感覚を養う簡単な体幹トレーニングやゲーム</u>を取り入れ、楽しみながら体の調和を意識させる。個々の動きを観察し、適切なアドバイスや補助を行い、段階的にバランス力を高める支援をする。 ☆<u>規則や戦い方の工夫例を具体的に示し、グループで話し合っ</u>て新しい規則や戦略を考える時間を設ける。実際に試してみることで、工夫する楽しさや考える力を育てる。 ☆<u>基本動作を段階的に分けて指導し、できる動きから練習を始める。</u>ペアやグループでの練習や成功体験を共有する時間を設け、苦手な児童には個別にサポートや声掛けを行う。
道徳	○教材を読んで内容を理解したり、自分の考えを述べたりすることはできているが、登場人物の姿を自分自身の生活に結びつけて考えることや、自分を振り返って気付きをもつことに課題が見られる。 ○相手の立場に立って物事を考えることができるように、授業展開を工夫している。	☆登場人物の<u>気持ちや行動と自分の経験を結びつけて考える</u>発問や活動を取り入れ、<u>自己との関わりを意識できるようにする。</u> ☆児童の実態に合わせた指導方法を工夫する（役割演技・動作化・表現活動等）や話し合い活動を取り入れることで、様々な立場に立って考えたり、友達の多様な考え方に触れたりする機会を意図的に設定する。